

マンション集積場の調査結果報告

【調査の目的】

マンションの集積場は、常時ごみ出しが可能な所等、その状況は様々であり、令和7年3月からの生ごみ分別収集開始に伴い、燃やすごみの収集が週2回から週1回になることで、集積場が手狭になり、住民のごみ出しに懸念が生じることが予測されることから、燃やすごみの収集は今後、資源物収集の日と同一日に収集する予定であるため、住民のごみ出しだけでなく、業務員のごみ収集業務（ごみの取り出し）にも支障が生じる可能性があることから、現在の状況を把握し、今後の生ごみ分別収集を円滑なものとすることを目的とする。

【調査概要】

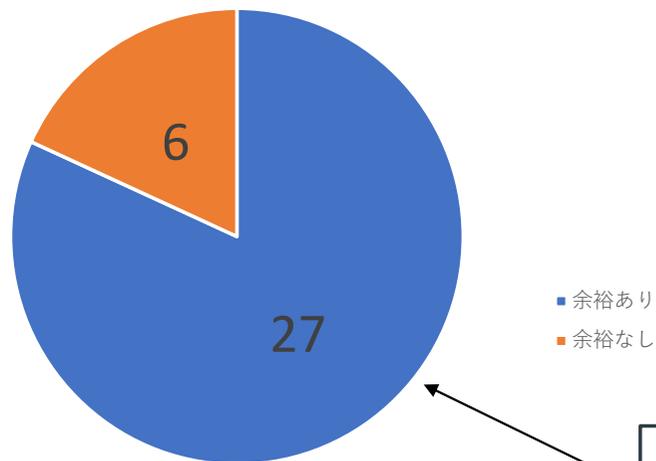
調査期間：令和6年8月5日～12日

調査対象：敷地内にごみ及び資源物の集積場のあるマンション33か所

調査者：クリーンセンター業務員

調査方法：現地確認により、集積場の使われ方などから、余裕の有無等、今後、生ごみ分別収集が開始された際に考えられるマンション集積場の影響についてまとめた。

1 現在のマンションの「燃やすごみの日」の集積場の状況

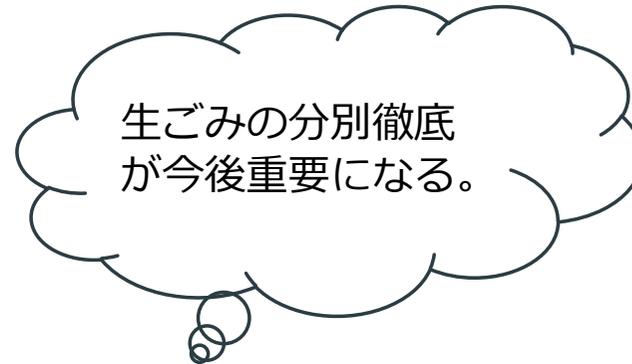
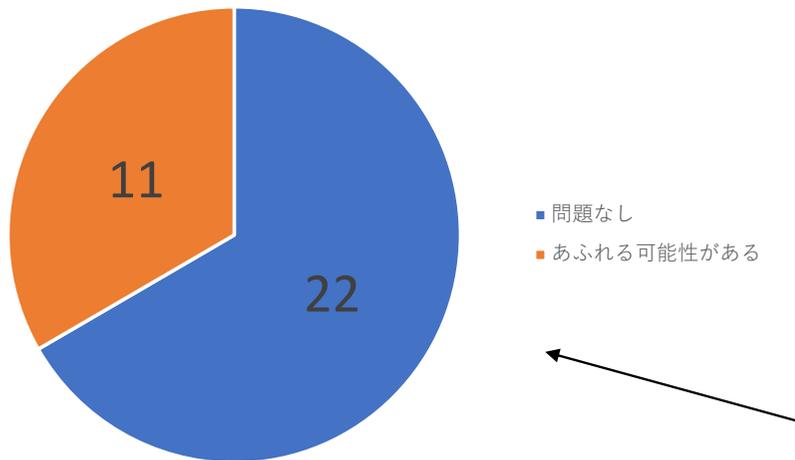


現在の「燃やすごみの日」においては、
33か所のうち、
「余裕あり」は33か所中、27か所（81.8%）
「余裕なし」は33か所中、6か所（18.2%）
となっています。

※「余裕あり」とは、集積場に余裕があると業務員が判断した集積場を指します。

※「余裕なし」とは、集積場において現在はごみが収まっていますが、現在の集積場の状況を見ると一杯で、余裕はないと業務員が判断した集積場を指します。

2 燃やすごみが週1回になることでのマンション集積場の状況



「燃やすごみ」について、現状の週2回収集から週1回収集にした場合、33か所中、
「問題なし」は22か所（66.7%）
「あふれる可能性がある」は11か所（33.3%）となっています。

しかしながら、「生ごみ」を週2回収集することになるので、今後、「あふれる可能性がある」は減少する可能性があります。

- ※「問題なし」とは、燃やすごみが週1回になっても集積場に余裕があると業務員が判断した集積場を指します。
- ※「あふれる可能性がある」とは、現状のままでは、燃やすごみが週1回になるとごみ量が増え、集積場に余裕がなくなり、あふれる可能性があるとして業務員が判断した集積場を指します。

現状のまま燃やすごみが週2回から週1回になった場合、
集積場があふれる可能性があるマンション（例）

例1



例2



現状に余裕はあり、燃やすごみ収集が週2回から週1回になっても問題は無いと考えられるマンション（例）

例1



例2



資源物と燃やすごみの集積場が同一なマンション（例）

例1 資源物の日（燃えるごみが出ていない日）



例2 燃えるごみの日



この場所に、燃やすごみが集積されています。燃やすごみと資源物が同日に出されると、業務員（資源物）のごみの取り出しに支障が出る可能性があります。

【今後の対応方針】

- 1 マンションに対象を絞って組成分析を行うことで、ごみの分別啓発を徹底する。
- 2 個別に今後の分別に対応するための指導助言を行う。